

さわやかに たからかに とこしえに

秋田県立横手清陵学院中学校・高等学校 校長室だより第8号
2021年3月2日(火)発行 文責 信田 正之

旅路

中学校、高校の3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。昨年は保護者も在校生もいない中での寂しい卒業式でしたが、今年は例年に近い形で式典を挙げることにになり、ほっと胸をなで下ろしているところです。

3年生の皆さんにとって、この一年は大変な年だったと思います。新型コロナウイルスによって、あらゆる教育活動が制約を受け、特に部活動の大会やコンクールの多くが中止になって悔しい思いを抱いた人も多かったに違いありません。皆さんの気持ちを思うといたたまれない気持ちになります。しかし、そんな中でも皆さんは自分を見失うことなく日々努力し、多くの成果を収めてくれました。皆さんのその真摯な心は、高校に進学しても、社会に出てからも、大きな力になってくれるものと確信しています。頑張ってください。

さて、高校3年生は、これから長い人生の旅路につきます。山あり谷あり、皆さんの前にはどんな風景が待ち受けているのでしょうか。そんなことをぼんやり考えているときに、ちょっと気になる曲に出会ったので紹介します。実は私、TVドラマを見ながら夕食をとるのが日課になっているのですが、その中のお気に入りの一つに毎週木曜日に放映されている「にじいろカルテ」があります。病気を抱える若い女医さんが小さな村の診療所に赴任し、そこで出会う人々との心の触れ合いを描いたヒューマンドラマで、ドキュメンタリー風の自然な演技がリアリティを醸し出し、人間愛が素直に表現されていて、観る人を心地よい気分させてくれます。そのドラマのエンディングに流れるのが紹介したい曲「旅路」です。何とも優しげで心に残る歌詞、メロディ、歌声は、ドラマと抜群にマッチしています。早速、曲のことを調べてみると、藤井風さんというシンガーソングライターが作詞・作曲した曲だとか。リリースは昨日だったようで、報道ステーションで生演奏を披露してくれました。ドラマの展開にリリースのタイミングを合わせたようですが、人生を「旅路」と比喻しているあたり、これから人生の新たなステージに踏み出す卒業生に贈る応援ソングにも思えます。私なりに歌詞の意味を解釈してみました。

「失敗して逃げ出したくなるような経験は誰にでもある。つらいことは永遠に続くように思えるが、それもいつかは終わる。何かを追い求めることが人生なら、それにも終わりが訪れる。確かなことは、一つ一つの経験には意味があり、それから何かを学び、まわりから愛情を受け取って、人は大人になる。そのとき、過去にあったどんなつらい出来事も、愛すべき思い出として笑顔で話せるようになるだろう。また、受け取った愛情を、別の誰かに返すことができるようになるだろう」

初めて曲を聴いたとき、「自分の若いころにもこんな思いをしたことがあったなあ」と共感するものがありました。これからの人生を歩む上で、何かの参考にしていただけたら幸いです。

もう少し音楽の話が続けますが、私も弾き語りをしますので、この曲をギターでコピーしてみました。ジャズっぽいコード（和音）が多く、コピーには時間がかかりました。もちろん、弾きながら歌うのはもっと難しいのですが、ギターが弾ける人は、ぜひチャレンジしてみてください。裏面に歌詞とコードを記載します。なお、コードが違っていたら、あとで教えてください。また、著作権の関係で、ネット版に裏面は公開しません。悪しからず。